

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践 職員全員の総意をどのようにまとめるのか思案中である	理念を作成する	近日中に理念の骨子を管理者とリーダーで作成し職員全員に回覧する。そこから意見を交換し職員の総意で理念をつくりあげる。	2 か月
2	2	最近インフルエンザ、ノロウイルスの影響で中止する期間がありましたが、以前より地域交流会は開催しています。そこから拡大していく活動にするにはどうしたら良いのか課題である。	ボランティアの受け入れ 地域交流会の充実	地域の小学校、中学校のPTA、及び児童、生徒にボランティアの受け入れの呼びかけをする。グループホームで地域の住民の方に呼びかけ、日曜喫茶の開催。地域の趣味のクラブの発表の会場にグループホームを使っていたたく。	12 か月
3	14	介護の仕事は、ひまわりが初めてである。また介護の仕事を始めたばかりの職員が多く、この施設の問題点がみえない。	他施設の交流を充実させる。	管理者が交流のできる施設を探し交流の機会をつくる。 他施設の見学、訪問、実習又は、研修を行いレポートを提出する。	12 か月
4	33	看取りや終末期のあり方の理解 介護経験が浅い職員が多く、特に夜勤帯に不安があり職員に理解をさせるにはどうしていくのか課題がある。	ターミナル・ケア研修を充実させる	ターミナル・ケアの経験のある方を講師に招き現場の状況、体験を話していただく。ご家族の思いを聞いたり、ターミナル・ケアを実践されている施設に直接見学に行く。	12 か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。